

編 集 後 記

生涯教育講座に島根大学医学部から2編寄稿いただきました。まず総合医療学講座の石橋教授の「急性増悪を繰り返す慢性心不全例：PDE-Ⅲ阻害剤（ピモベンダン）長期使用について」では、これまでピモベンダン併用投与が慢性心不全症例でQOLの改善効果があることが報告されているが、多くは1年以内の観察結果であり、著者らは2年以上の経過観察によりQOLの改善効果を認めている。今後、さらに人口の高齢化が進み、慢性心不全患者の増加が予測される中で、意義深い研究と考えられます。微生物学講座の吉山教授の「感染に伴って起こるがん：Epstein-Barr ウイルス関連胃癌を中心に」では感染症と癌発生との関係をわかりやすく説明され、EBウイルスに感染した上皮細胞の腫瘍化メカニズム、特に著者の研究テーマであるEBウイルス関連胃癌について解説していただいている。EBウイルス関連胃癌は、他の胃癌とは大きく異なる遺伝子異常があることが最近報告され、著者も精力的に研究を行われ、関連著書も出版されているので、興味のある方はご一読をお薦めします。

特発性食道破裂の症例報告が2報あり、それぞれ胸腔鏡・腹腔鏡手術、胸腹部連続切開によるアプローチで、いずれも一期的に穿孔部の閉鎖、大網被覆が行われて良好な経過を辿り、術式、保存的治療の選択等に関する考察も参考になります。特筆すべきは、これらのうち一報は水谷先生が島根大学病院の初期研修医時代に投稿していることで、今後も若手医師の皆様には島根医学を症例報告など論文作成のトレーニングの場として活用いただきたいと思います。

(M. I)

島根医学編集委員

葛尾信弘，貴谷 光，秦 公平，児玉和夫，森本紀彦，
浅野博雄，沖田旺治，齊藤洋司，佐藤比登美，小林祥泰，
井川幹夫，菊池 清

島 根 医 学

平成28年9月30日発行

発行者	島 根 県 医 師 会
	松江市東奥谷町
編 集	編集者 葛尾信弘
発行所	松江市学園南2丁目3番11号 有限会社 松陽印刷所